

### ◎地域防災計画改定に係るパブリックコメントでいただいた意見

現在、町内に住んでいます、1人や2人暮らしの住民が増えてきています。また、空き家も増えてきています。この現状で、家族全員が被災されたときに、被災状況を把握し2次被害を防ぐためには、情報の収集がとても大事だと思います。

そこで、遊佐町では、現在、実際に誰が、どこに、何人住んでいるのか、又、昼と夜に何人住んでいるのか把握しているのでしょうか、これについては、個人情報絡んでいとおもいますが、行政では、把握する必要があると思います。それに基づいて、災害状況（人的被害）の情報収集が必須と思います。

現在、遊佐町では住民基本台帳と国勢調査に基づいて、住民の把握をしていると思いますが、基本的に両調査では、実数とはかなりの差が生じているのではと思います。

災害に対応できる住民の昼と夜の住民確認が出来ないのか、出来るとすれば、誰が、どこで、何時できるのか、町なのか、集落なのか、隣組なのか、両隣なのか、これは、地域自主防災に委ねることが必要と思います。町と、地域自主防災組織の連携をより深くし、大災害には、対応することが必須と思います。

災害時には、情報伝達がスマホで出来ない時もあると思いますので、人的伝達（会話）がとても大事とおもいます。

住民としては、災害時何を一番にするのか、次に、何をするのかを的確に明記しているものがあるとおもいますが、人的移動については、何時も変動しているので、対応が難しいと思います。

遊佐町地域防災計画は良くできていると思いますが、流動性のあるものをどの様に把握し、優先順位をどのようにするかが、必要ではないかと思います。又自主防災組織との連携も記載していただければと思います。 以上

### ◎いただいたご意見に対する町の考え方

町では災害対策基本法に基づき、年1回避難行動要支援者名簿を作成し、警察、消防、民生委員、自主防災組織のみなさんと災害時に支援を要する方々の情報を共有しております。ただし、ご意見のとおり日常生活や各種要因において、人的な移動が常時行われている状況では、災害が発生した時点での情報収集は自主防災組織のみなさんにお願いする以外にないと考えております。これまで以上に自主防災組織のみなさんと連携を強化し、さらに、地域の支え合いを計画にした個別避難計画を作成し、防災訓練を重ねることで、起こりえる災害に備えていくことが大切であるとと考えております。